

ツクリ「ニワ」



変化する生活

現代の社会は変化の時代です。
ライフスタイルの多様化を受け入れるべくサスティナブルな住居のあり方が求められています。

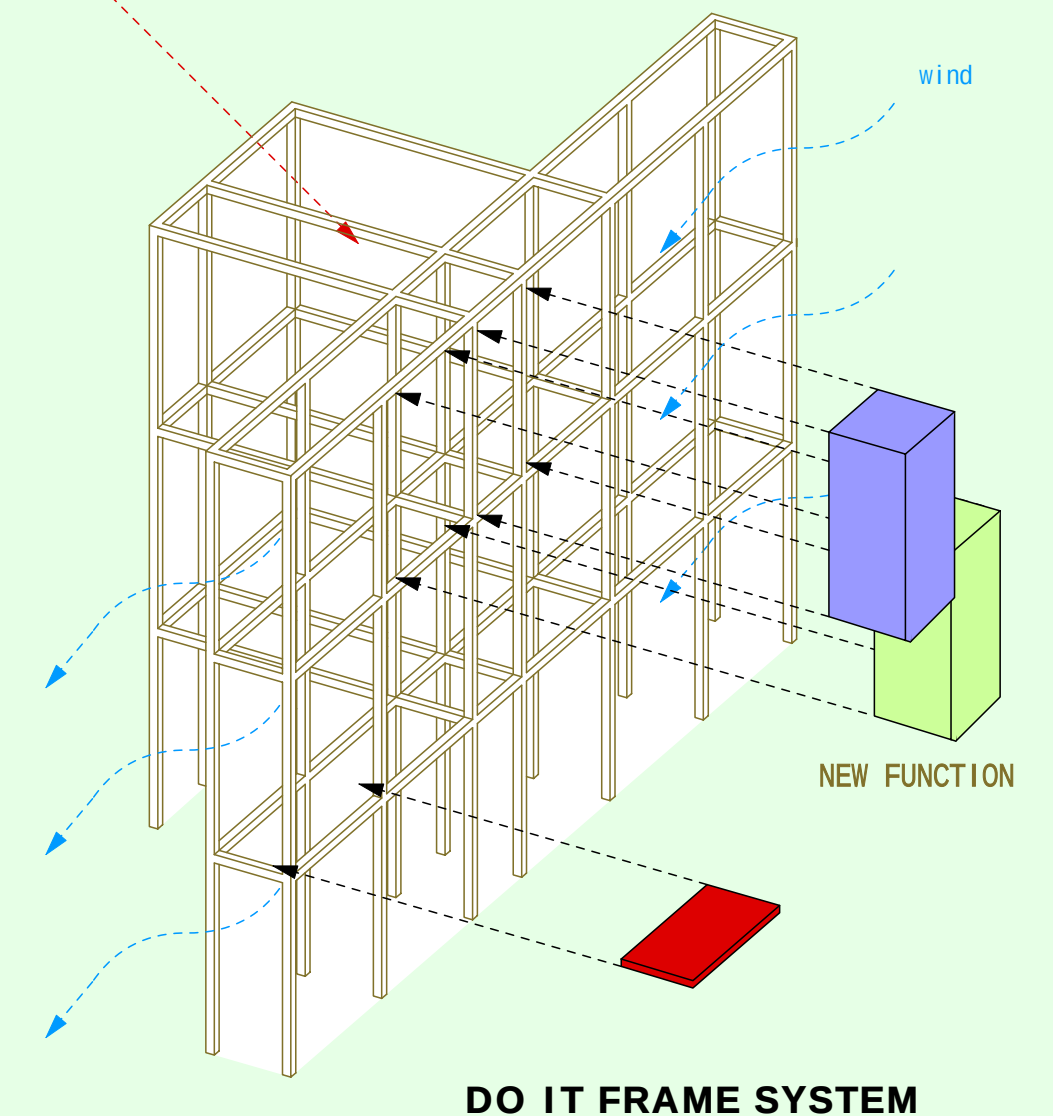
京の町屋は、決められた容積のなかで、最大限の有効活用を図るべく住居内に、通り庭、坪庭を持ち込み、採光、通風、換気を可能にしています。このような側面から、私達は、京の町屋はサスティナビリティを備えた住居である考えます。
本計画は、京の町屋のサスティナビリティを取り込み、社会的変化に対応した住まい方を提案します。

ツクリ「ニワ」

私達は住居内の余剰空間を立体的なツボニワ、トオリニワと捕らえ、軸組みで構成されたみんなで作る「Do it ourselves」の空間を提案します。
諸室との関係によってこの「Do it ourselves」の空間は「ニワ」の特性を引き継ぎかつ、生活の変化に対応する可変性を持ちます。

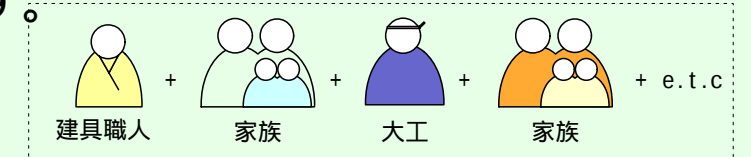
Do it ourselves空間
架構ダイヤグラム

「ニワ」の特性を引き継ぎ
かつ、生活の変化に対応する
可変性を持たせる。



みんなで育てる町屋

「Do it ourselves」の空間は実際には、その地域の町屋を知り尽くした建具職人や、大工さんに頼んで、床や戸を増やしたり、付け替えてもらいます。また、隣近所に助けてもらって、本棚を取り付けることも可能でしょう。
この町屋は家族だけでなく、地域に住まう職人の手を借りながらつくり育てていく住宅です。
ここで、人々は各々住環境をつくりだし、多様な表情の住宅をつくりだします。そして、常に変わりつづける街が生まれます。



私達の提案する町屋は生活の中で生まれる「楽しみたい」「増やしたい」「始めたい」。
そんな希望をかなえる住宅です。